

教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
1【いきる】	④【夢や希望の大切さ】 夢や希望をもつことは、生きる価値を見出すことであり、つらく厳しい状況を乗り越えられることにつながることを実感する。	学級活動 道 徳 総合的な学習の時間

【題材】 「夢や希望に向かって」 【対象】 全校児童

【実践の概要】

- |               |         |          |
|---------------|---------|----------|
| 1 夢をもたせる      | 2 夢の交流  | 3 道徳授業参観 |
| 4 P T A 教育講演会 | 5 学級懇談会 | 6 夢への努力  |

【実践の詳細】

- 自分の夢をもたせ、自分が夢に向かってがんばっていることを書かせる。
- 互いの夢や、夢に向かってがんばっていることを交流するために、自分の写真と夢を書いたカードを掲示したり、交流している吉里吉里小へ送ったりすることを通して、両校の児童にがんばろうという気持ちをもたせる。
- 4～6年生は6月、1～3年生は11月の授業参観の際に道徳の授業を行い、目標を立てねばり強くやり遂げようという心を育てる。
- 4～6年生は、P T A 研修委員会が教育講演会として企画した「からだの不自由なTAKAさんの講演会」に参加した。困難を乗り越えて、夢に向かってがんばっている講師の話聞き、考えたことや自分が決意したことを講師に聞いてもらい、夢に向かってがんばろうとする意欲を高めさせる。
- 学級懇談会で、授業や講演会の感想、子どもたちの実態等について保護者と交流し、共に支えていけるようにする。
- 1, 2学期に夢の実現に向けてがんばったことをまとめて書き、吉里吉里小の友達に伝える。



★道徳授業参観の内容

	年	主題名「資料名」	【内容項目】・ねらい
一学期	4年	夢をかなえるために 「いつかにじをかける」	【1—(2) 勤勉・努力, 忍耐】 常に自分で目標をもち、一步一步努力して目標達成を目指して、粘り強く進もうとする態度を育てる。
	5年	希望をもって 「メジャーリーガー イチロー」	【1—(2) 希望, 勇気, 不撓不屈】 より高い目標を立てて困難や失敗にくじけることなく、常に希望をもって一步一步の努力を積み重ねることによって、目標を達成することの大切さを自覚させる。
	6年	より高い目標をたてて 「字が書きたい」	【1—(2) 希望, 勇気, 不撓不屈】 より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する心を育てる。
二学期	1年	じぶんのために がんばろう 「はたらけ せっせ」	【1—(2) 勤勉・努力】 くじけずにやり通そうとする心情を育てる。
	2年	しっかりやろうね 「書き方の時間のこと」	【1—(2) 勤勉・努力】 勉強や仕事に一生懸命に取り組む態度を育てる。
	3年	かがやく自分になろう 「すきなことから」	【1—(3) 勤勉・努力, 忍耐】 やると決めたことは最後までやり遂げようとする態度を育てる。

【授業の展開】 (6年)

主題名 より高い目標をたてて  
資料名 「字が書きたい」(偕成社『かぎりなく、やさしい花々』)

	学習活動	児童の反応
導入	1 星野さんがかいた花の絵を見て感想を発表する。 2 ペンを口にくわえてかくことを体験し、感想を発表する。	・口でかいたなんて思えない。 ・どうやってかいたんだろう。 ・ペンをくわえて字を書くのは難しいな。 ・これで字を書けるなんてすごいな。
展開	3 資料の前半を聞き、寄せ書きを書くことができなかった星野さんの気持ちについて考える。 4 自分が同じ状況だったらどうするか考える。 5 資料の後半を聞き、字が書きたいという星野さんの気持ちについて考える。 6 星野さんと自分は何が違うのか考える。	・誰かに書いてもらう。 ・あきらめる。 ・あきらめない心の強さ ・がんばり抜く気持ち ・つらいことにも負けない心
終末	7 もう一度ペンを口にくわえてかくことを体験し、価値を深める。	



【児童の感想から】

- ・「人と出会うこと」「夢」「『好きだ』という気持ちをもつこと」が、夢を叶えるということが分かりました。最初はうまくいかなくても、あきらめないで好きなことを続けたTAKAさんのように、わたしも自分の夢に向かってあきらめないでがんばっていきたいと思いました。
- ・TAKAさんの話を聞いて特に心に残ったことは、「自分で変える」ということです。TAKAさんは、「相手にばかり要求せず、相手がしてくれたら自分もする」「相手より先にする」と考えていました。私も「自分で変える」「自分を変える」ということを大切にしていきたいです。私には夢があります。つらいときでも、「『好きだ』という純粋な気持ちを大切に、好きなことを最後まで続け、夢がかなえられるようにがんばりたいです。
- ・TAKAさんや星野さんのように手と足が動かなくなったら、すごく悲しくて生きている価値がないと思ってしまいます。でも、そんな状況から立ち直り、目標に向かって努力するのはすごいと思いました。わたしはダンスの練習をしています。できないことだらけでやめたいと思うこともあるけれど、TAKAさんや星野さんから、「あきらめずに努力し続ければ、きっといつかできるようになる、夢はかなう」と教わったので、あきらめずにいつかかなうと信じて、がんばって前に進んでいきたいです。私のこれからの長い人生、「あきらめない心」をもって、どんなかべも乗り越えていきたいです。

【まとめ】

今年度の道徳の重点内容項目と復興教育の具体の項目を関わらせて、昨年度まで行っていた吉里吉里小との交流、授業参観・学級懇談、PTA教育講演会を行い、「夢や希望の大切さ」「あきらめない心の大切さ」について実感したと思われる。特に、今年度初めて講演会に4年生以上の児童を参加させて親子で、障害を乗り越えて明るく前向きにチャレンジしているTAKAさんの話を聞く機会をもったことは、家庭でも話題にし、実践化につなげていくことに効果的だった。  
これからも児童が継続して夢や希望に向かって、困難に負けずに努力していけるように、学校、家庭、地域が連携してさまざまな活動を進めていきたい。

【保護者の感想】

- ・最近の子供はすぐにあきらめるところがあり、忍耐力が足りないと思います。今日の話聞いて、自分ももっとがんばろうという気持ちをもってくれたらいいなと思います。
- ・自分の力で何とかしようとポジティブに前に進んでいくTAKAさんはすごいなと思いました。「私たちも、もっともって何かできる」という気持ちにさせてくれました。

